

令和 3 年度
キャリア形成支援教育に
関する調査
～雇用主アンケート結果～

鳥取短期大学

アンケート概要

鳥取短期大学の卒業生（2019 年 3 月～2021 年 3 月卒業）を雇用している企業および施設（鳥取県、島根県、その他地域）を対象に、本学におけるキャリア支援形成教育に関するアンケート調査を実施した。

調査目的：鳥取短期大学の学生のキャリア形成支援教育の向上を目指し、本学の教育改善に資する。

調査対象：鳥取短期大学本科卒業生および専攻科修了生が新規採用として、2019 年 4 月 1 日から 2021 年 4 月 1 日までの 3 年間に採用された 288 事業所を対象とした。

調査方法：アンケート用紙を対象事業所に郵送し、回答と返送を依頼した。

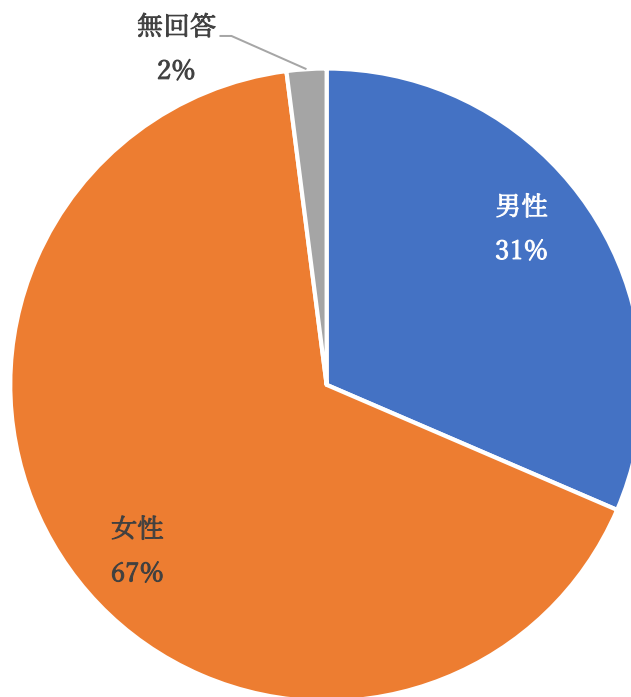
調査期間：2022 年 1 月 5 日～2022 年 1 月 31 日

回収率：60.4%（=174/288 事業所）

調査対象事業所の地域別内訳

地域	配布(件)	回収(件)	回収率(%)
鳥取県東部	64	38	59.4
鳥取県中部	55	36	65.5
鳥取県西部	64	45	70.3
島根県	54	37	68.5
その他地域	51	18	35.3
合計	288	174	60.4

Q.01 採用者の性別

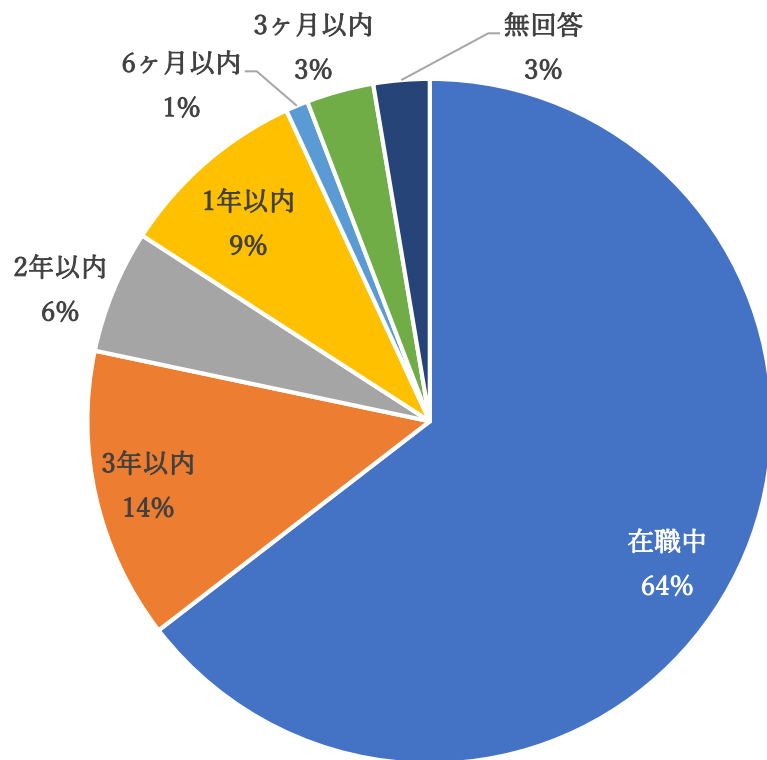


<ベース:全体/n= 197>

※ 複数回答あり

- ・採用者の性別としては、男性が約 30%、女性が約 70%であった。

Q.02 採用者の在職期間

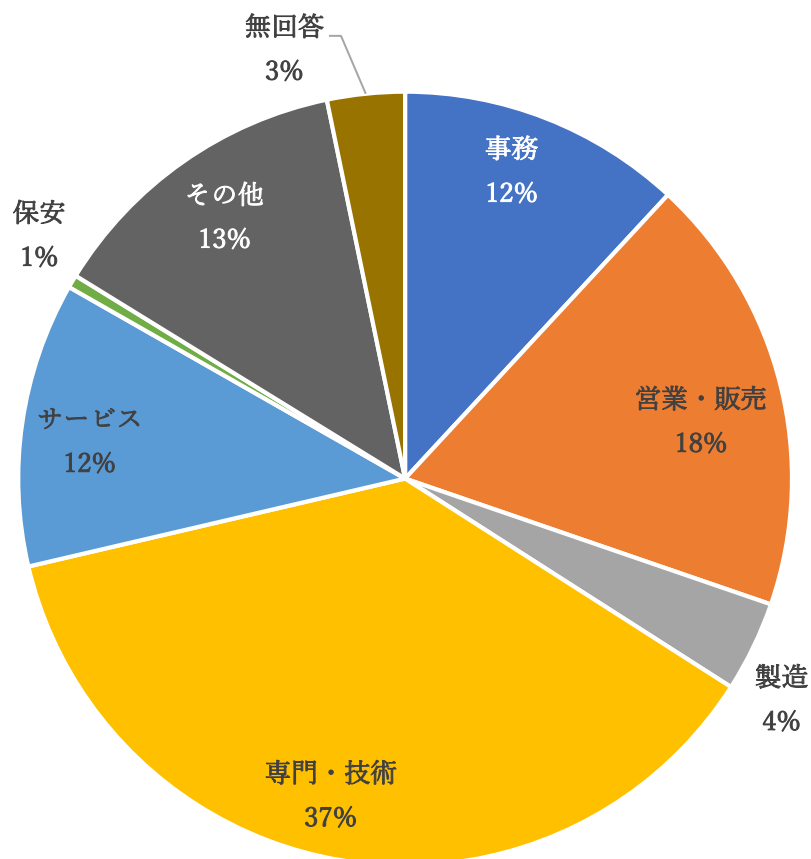


<ベース:全体/n= 189>

※ 複数回答あり

- ・全体の 64% が在職中であり、入社後 3 年以内の離職者は 37% であった。
- ・令和 3 年に厚生労働省が発表した入社後 3 年以内の離職率（短期大学卒業者）が 41.4% であることから同様の状況がうかがえる。

Q.03 採用者の職種

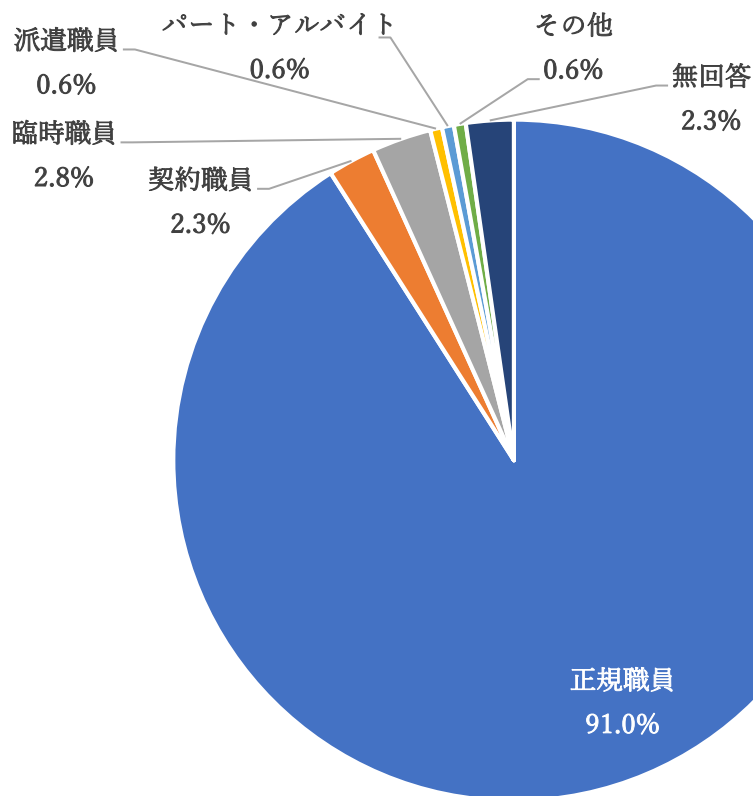


<ベース:全体/n= 185>

※ 複数回答あり

・職種としては、『専門・技術』『営業・販売』『サービス』『事務』で全体の約 80%となっている。

Q.04 採用者の雇用形態

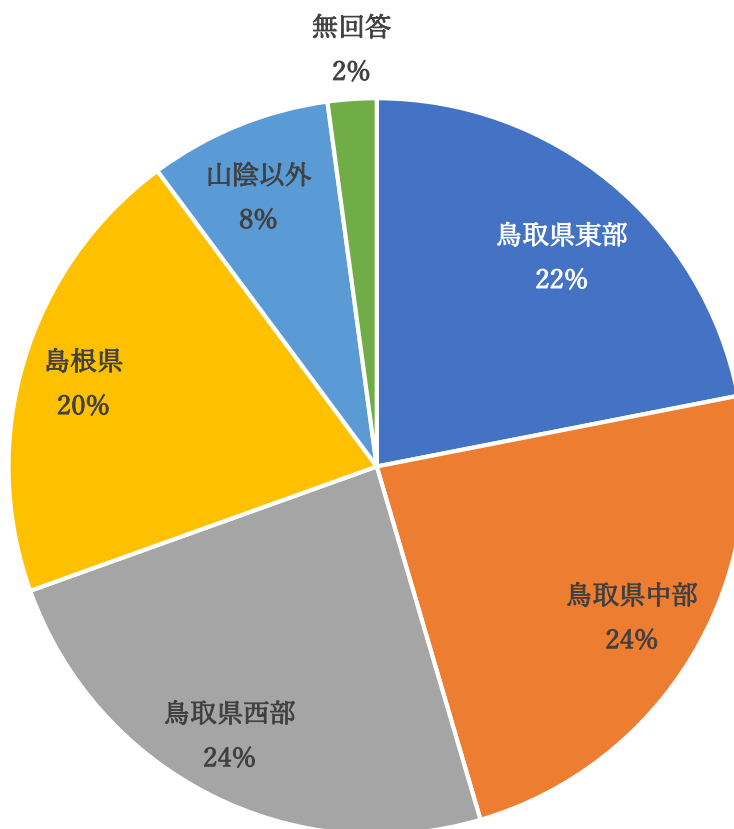


<ベース:全体/n= 177>

※ 複数回答あり

- ・雇用形態としては、正規職員(正社員)が 91%であった。

Q.05 採用者の勤務地

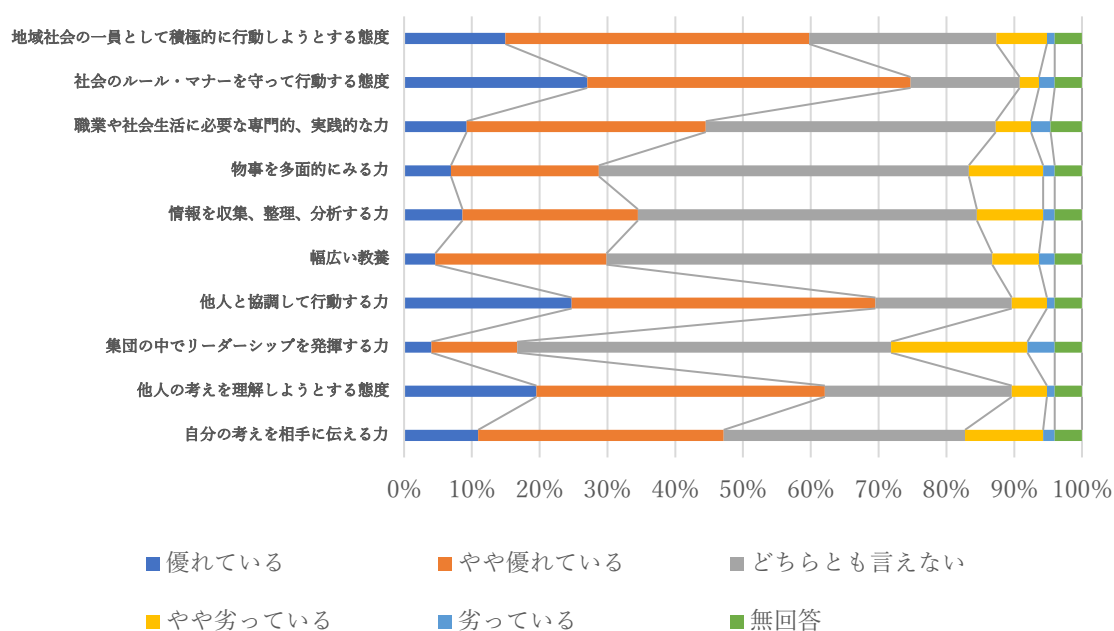


<ベース:全体/n= 187>

※ 複数回答あり

・勤務地については、山陰両県で 86%であった。本学の入学者の大半が山陰両県の出身者であることと合致している。

Q.06 鳥取短期大学の新卒採用者の状況についてお尋ねします。以下に示す 1~10 の職務上の能力について、右側の回答肢より、該当する数字に○をつけて下さい。



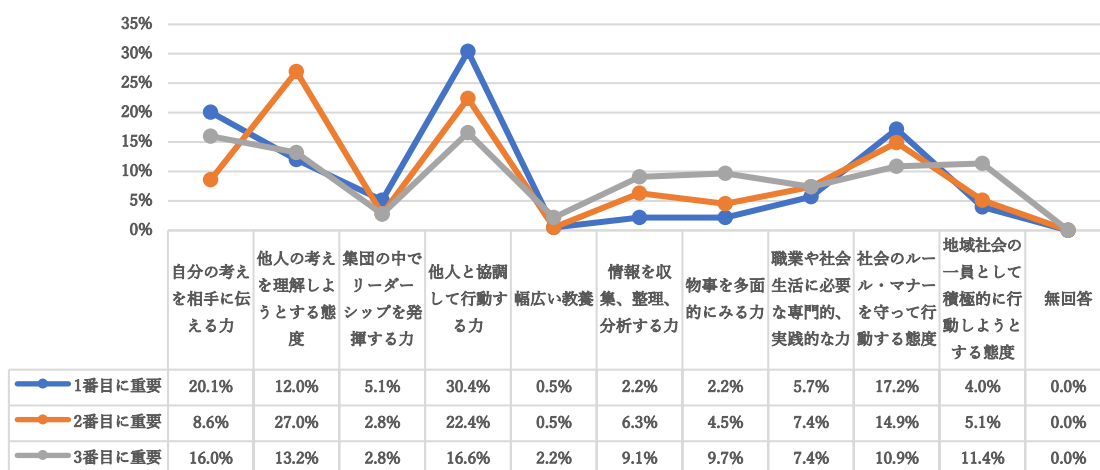
・「社会のルール・マナーを守る」「他人と協調して行動」「他人の考えを理解」する能力が高評価を得ており、Q.07 の結果と照らし合わせると、組織の中で人と柔軟にコミュニケーションを取ることができ、協働することの出来る人材が求められている。

・令和 2 年に実施した調査結果と比較して「地域社会の一員として積極的に行動しようとする態度」が高評価を得ている。

・「集団の中でリーダーシップを発揮する力」については、他の項目と比較して低評価である。

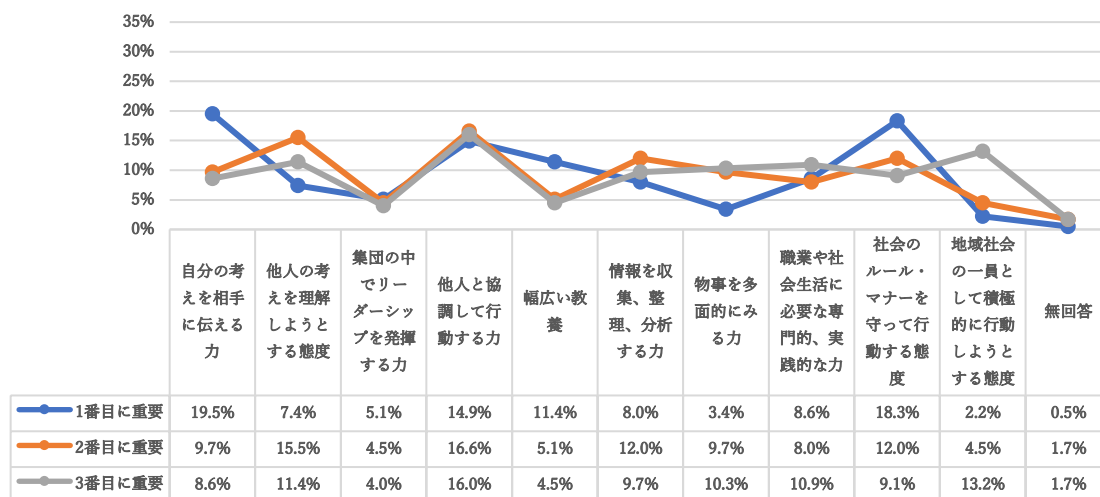
Q.07 新卒者を採用する際に、重要視する力や態度及び鳥取短期大学の卒業生が在学中に習得すべき力や態度についてお尋ねします。以下の 1～ 10 の項目から、重要視する順番に 3 つを選んで、その番号を右欄にお答え下さい。

『採用時に重視する力や態度』



<ベース:全体/n= 174>

『在学中に習得すべき力や態度』



<ベース:全体/n= 174>

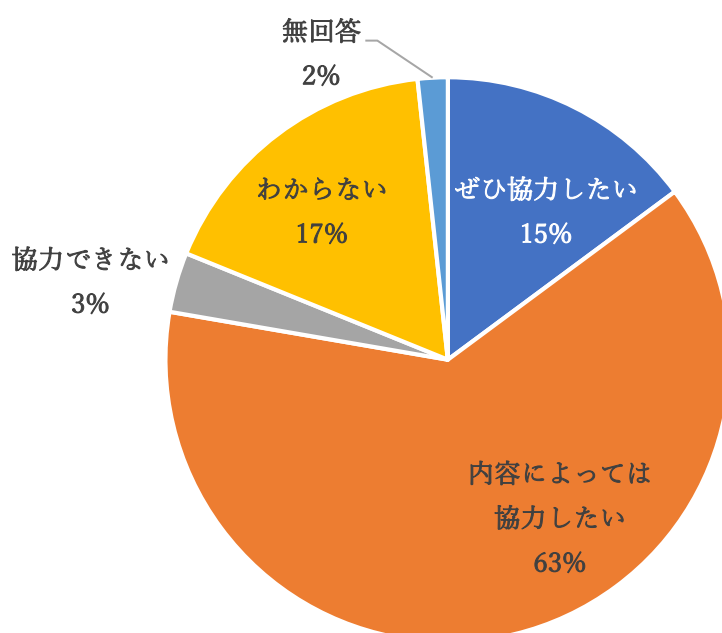
・『採用時に重視する力や態度』『在学中に習得すべき力や態度』の両方において強く関連しているも「他人と協調して行動する力」「社会

のルール・マナーを守って行動する態度」であり、やや関連しているは「自分の考えを相手に伝える力」「他人の考えを理解しようとする態度」であった。

・『採用時に重視する力や態度』ではないが、『在学中に習得すべき力や態度』に「幅広い教養」が求められている。

・「自分の考えを相手に伝える力」「他人の考えを理解しようとする態度」「幅広い教養」に対する雇用主の回答結果から、円滑なコミュニケーション力を重視していることが示唆された。

Q.08 大学におけるキャリア形成支援教育で、社会の実状やどんな変化にも対応できる学生の育成を目指すにあたり、「社会人講話」や「企業等における課題解決」等をテーマに授業を展開していく予定です。そのような授業への協力を依頼した場合、最もあてはまるものを次から選択してください。



<ベース:全体/n= 175>

※ 複数回答あり

- ・ 約 80%の雇用主から協力したいと回答を得た。
- ・ 「内容によっては協力したい」の回答が 63%であったことから、Q.06 と Q.07 の結果を踏まえたプログラム設計を行っていくことが重要である。

令和3年度 キャリア形成支援教育に関する調査 アンケート用紙

記入年月日 令和4年 月 日

注) 2019年4月1日以降、本学の卒業生で新卒採用していただいた方を対象に記入してください。

該当者が複数名ある場合は、平均的なケースとしてお答えください(複数回答可)。

Q.01 採用者の性別

A.01 1. 男性 2. 女性

Q.02 採用者の在職期間

A.02 1. 在職中 2. 3年以内 3. 2年以内 4. 1年以内
5. 6ヶ月以内 6. 3ヶ月以内

Q.03 採用者の職種

A.03 1. 事務 2. 営業・販売 3. 製造 4. 専門・技術
5. サービス 6. 保安 7. 農林漁業 8. 運輸通信 9. その他

Q.04 採用者の雇用形態

A.04 1. 正規職員 2. 契約職員 3. 臨時職員 4. 派遣職員
5. パート・アルバイト 6. その他

Q.05 勤務地

A.05 1. 鳥取県東部 2. 鳥取県中部 3. 鳥取県西部 4. 島根県
5. 山陰以外

【裏面へつづく】

【事業所番号】 110000

Q.06 鳥取短期大学の新卒採用者の状況についてお尋ねします。

以下に示す1～10の職務上の能力について、右側の回答肢より、該当する数字に○をつけて下さい。

A.06

	①優れている	②やや優れている	③どちらとも言えない	④やや劣っている	⑤劣っている
1. 自分の考えを相手に伝える力	1	2	3	4	5
2. 他人の考えを理解しようとする態度	1	2	3	4	5
3. 集団の中でリーダーシップを発揮する力	1	2	3	4	5
4. 他人と協調して行動する力	1	2	3	4	5
5. 幅広い教養	1	2	3	4	5
6. 情報を収集、整理、分析する力	1	2	3	4	5
7. ものごとを多面的に見る力	1	2	3	4	5
8. 職業や社会生活に必要な専門的、実践的な力	1	2	3	4	5
9. 社会のルール・マナーを守って行動する態度	1	2	3	4	5
10. 地域社会の一員として積極的に行動しようとする態度	1	2	3	4	5

Q.07 新卒者を採用する際に、重要視する力や態度及び鳥取短期大学の卒業生が在学中に習得すべき力や態度についてお尋ねします。以下の1～10の項目から、重要視する順番に3つを選んで、その番号を右欄にお答え下さい。

A.07

1. 自分の考えを相手に伝える力
2. 他人の考えを理解しようとする力
3. 集団の中でリーダーシップを発揮する力
4. 他人と協調して行動する力
5. 幅広い教養
6. 情報を収集、整理、分析する力
7. ものごとを多面的に見る力
8. 職業や社会生活に必要な専門的、実践的な力
9. 社会のルール・マナーを守って行動する態度
10. 地域社会の一員として積極的に行動しようとする態度



●新卒者を採用する際に、重要視する力や態度

順 番	項 目 番 号
1番目	
2番目	
3番目	

●鳥取短期大学の卒業生が在学中に習得すべき力や態度

順 番	項 目 番 号
1番目	
2番目	
3番目	

その他、大学のキャリア形成支援教育へのご協力の可否についてお尋ねします。

Q.08 大学におけるキャリア形成支援教育で、社会の実状やどのような変化にも対応できる学生の育成を目指すにあたり、「社会人講話」や「企業等における課題解決」等をテーマに授業を展開していく予定です。そのような授業への協力を依頼した場合、最もあてはまるものを次から選択してください。

A.08 1. 是非協力したい 2. 内容によっては協力したい 3. 協力できない 4. わからない